

## 市川市、総イクメン化計画！

子供を産み育てる事が難しくなっています。原因は4点あります。①非婚・晩婚・晩産化。②核家族化。③都市化による地域社会の機能不全。④経済不況。また、女性が子供を産むことに不安を感じています。姑や社会、本人さえも、本当はとても大変な事なのに「子育てはできて当たり前」と考えるためです。そして、専業ママ達は、夫の浮気・DV(暴力)・夫婦関係・育児の無関心等に悩みます。社会的隔絶感を感じます。これらの問題を要因として、産後うつや幼児虐待、最悪の場合、自殺に至りません。しかし、これらの問題を政治的に解消するのは時間がかかりそうです。では、政治的なアプローチとは別に良い方法はないでしょうか。私の望む方策を提案します。それは「市川市、総イクメン化計画」です。「イクメン」とは、育児を積極的に楽しんで率先して行う男性です。さらに広義に解釈すると、奥さんへの愛と心づかいを忘れない男性を意味します。夫婦仲良く信じ合って、奥さんを気遣い、支える事が、子育て環境を激変させる妙薬です。共働きであれば、旦那さんは奥さんの化粧時間位は確保して下さい。ゴミ出しはゴミ袋を出すだけでなく、分別やゴミを集め、流しの三角コーナーを掃除するところからやって下さい。そして「手伝ってやった」と自慢せず、自然にやって下さい。新米ママ達は言います。「夫が風呂に子供と入っている声を台所から聞くのは幸せ」「寝た子供の横でひとり家で待っているのは寂しい」「ねぎらって欲しい」：今回は敢えて『育児休業』への市川市独自の補助金制度」等は提案しません。問題や解決方法はいたってシンプルです。「市川市、総イクメン化計画」結果として、過労死やうつ・DV、児童虐待等による自殺撲滅の一因に繋がります。私はまだ独身です。でも、奥さんや子供がいつも笑っていられるような、そんな優しくて包容力のあるお父さんになりたいです。父親が変われば、社会が変わる！まずは今日、奥さんに花やスイーツをプレゼントしてねぎらってあげて下さい。個々人の優しい気持ちが集まっていけば、良い社会、街が形成されていくと信じています。

今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成23年1月4日

増田好秀